



きずな

2015年11月9日発行

国の未来を創る「教育」

目次

- 巻頭言 代表 福井誠 …1
- 活動報告 …2
 - ・ネパール
 - ・フィリピン
 - ・HFIフェス報告
- 事務局からのお知らせ…3
 - ・JANIC加盟
 - ・クリスマスレター受付中
 - ・クリスマス寄付受付中
- 総会報告 …4
 - ・HFI総会決算報告
 - ・2015年度活動計画



フィリピンセブ島スクオッターエリアにて

負の社会構造を乗り越える教育支援

去る10月3日(土)第二回HFIチャリティ・フェスが開かれました。スポンサーへの感謝会開催を目的とするもので、今回も、支援者の方々のよき集まりとなりました。フィリピン担当の相島寿子スタッフから、フィリピン事業の概要が説明され、この働きを通して、自立していく子どもたちの様子を伺い知る事ができました。HFIのフィリピンへの関わりは早や26年、衣類などの物資を送る小さな活動から始まり教育支援活動へ展開してまいりました。

そもそも教育支援については、教育を子どもの学習権を守るもの、と考えるのみならず、子どもの能力を質的に向上させ、より大きな利益を生み出すための投資、と考える在り方もあります。そういう意味では、HFIが支援した子ども達が、大学を卒業し、学校の教師やソーシャルワーカー、そしてエンジニアになって、新しい家庭を築くようにな

ったことは、良き投資と言えます。しかしながら、そのような成果が出るには、現地センターでの様々な努力や工夫もあったのです。現地スタッフの養育的な伴走抜きに、投資が実る事は考えられないのです。

実際、開発途上国の学校教育はそれ自体では必ずしもプラスの効果を上げるわけではなく、上層階級の子どものための高等教育進学率を促進し、下層階級の子どものための中途退学や留年を引き起こし、階層間格差という負の社会構造そのものを再生産する可能性があります。開発途上国の教育には、しばしば中途退学者を生み出さないカリキュラムの工夫が必要であると言われますが、相島氏の報告によれば、現地のセンター活動が、そのために有効に機能してきたのだと思われされました。ぜひ、こうした働きを覚えて、続けてご支援いただくと幸いです。(HFI 代表 福井誠)

ネパール震災支援基金ご協力ありがとうございます



皆様のご協力によって、多くのご支援をいただきましたこととお礼申し上げます。災害支援寄付金は、約500万円となりました。食料や、種々の緊急支援および集会所再建の必要のために、すでに、75万円を支出していますが、今後震災によって使用が難しくなったチルドレンホームの再建等の費用に充てる予定であります(2頁参照)。

なお、チルドレンホームの再建には、約2000万の予算を見込んでおり、さらに費用が満たされることを願っております。